

## 謝辞

本研究を進めるにあたり、悩みながら遠回りする中で、あたたかく見守って下さった数多くの先生方、諸先輩方、諸学友にご指導、ご協力、助言などを頂き、厚く御礼を申し上げます。

はじめに、研究の始めから終わりまで、的確で厚みのあるご指導をいただきました滋賀県立大学環境科学部環境計画学科の近藤隆二郎助教授に心より感謝いたします。研究を進める中で、あらゆる場への興味や関心のきっかけを作っていただいたことも、同じく感謝いたします。今後も研究室で学び知ったことを忘れません。本当に、ありがとうございます。

そして、査読をして頂いた滋賀県立大学大学院環境科学研究科の澤田誠二教授には、研究の今後の可能性を期待できる助言をいただき、あらためて研究を振り返ることができました。

また、研究対象とさせて頂きました『なにわ町方あきんど会』の皆様には、谷 雅枝さんをはじめ、資料をお借りしただけでなく、活動への参加や聞き取り調査のご協力を頂いたり、寄り合いの中で発表の場を設けて頂いたりと、大変お世話になりました。研究を進める中で、皆様の『引札』に元気を頂きました。今後ともよろしく願いいたします。

そして、共に同じ研究室で学び支えてくれた村上浩継さん、綾 倫子さん、藤岡誠一さんには行き詰まった時や分からない時いつもやさしく応えて頂きました。皆さんの支えがあったからこそここに研究を締めくくることができます。

同じように研究室の中で、様々なアドバイスや息抜きの時間に付き合ってくださった院生の仁賀崇之さん、鯉住良治さん、ゼミが同じになる以前より多方面にわたりお世話になりました院生の佐々木和之さんにも深く感謝いたします。

最後に、私があらゆる物事に興味を示し、また楽しむことを目指すことができるのは「知子」という名前のおかげかも知れません。その名前を付けてくれた両親に感謝いたします。

2003年11月28日  
長田 知子